

令和元年度第8回天童市教育委員会について（報告）

日 時	令和元年11月21日（木）午前11時00分 ～午前11時36分
場 所	教育委員会 第一会議室
出席委員	相澤一彦教育長、井上正信委員、村山晴香委員、 大内あゆ子委員
欠席委員	松村昌子委員
出席者	大内淳一教育次長兼教育総務課長、佐藤亨学校教育課長、 熊澤輝生涯学習課長、高橋清見学校給食センター所長、 事務局（教育総務課職員）

議 事

議第24号 令和元年度教育委員会所管12月補正予算（第7号）
について

<教育長あいさつ>

先ほどは、総合教育会議への出席、大変お疲れ様でした。

教育大綱の協議になりましたが、今後、天童市の教育指針となりますので、目標設定を行いながら前向きに進んでいきたいと考えております。

次に、学校の管理職採用に向けた面接で感じたことをお話しさせていただきます。

面接の中で、教育に関し「最近読んだ本」の質問に答えられなかった先生がいました。自己研鑽や自覚を持って生活して欲しいと感じたところです。また、「どんな教頭になりたいか」の質問に対して、校長への対応を話しされる方がいましたが、もっと子供や教員に目を向けて欲しいと感じたところです。

次に、先日出席しました山形県都市教育長会議で話し合われた内容について、報告させていただきます。

1つ目が、スクールロイヤー制度の導入についてでした。学校でのいろいろな法律に関する問題を、専門的に相談する弁護士の配置について話し合われました。天童市では、市として相談できる顧問弁護士が現在配置されている状況です。

2つ目が、統合型校務支援システムの導入についてでした。このことは働き方改革を推進するためのもので、費用がかかる問題でもあります。

3つ目が、スクールガードリーダーの拡充についてでした。県内に30人配置され、その拡充についての話でした。天童市では以前に配置していましたが、現在はいない状況です。

4つ目が、代替教員の確保についてでした。現在、代替教員の確保が難しい状況から話題です。

5つ目が、働き方改革の推進についてでした。削除していくことも大事ですが、働き方の根本を考える必要もあると感じてきました。

むすびになります。先日のOECD（経済協力機構）の報告によりますと、日本の教育に対する予算が、他国に比べて少ないとの報告がありました。今後の課題として感じたところです。また、ブレディみかこさんの本の中で、教育に関する事柄もありましたので紹介させていただき、あいさつとさせていただきます。

< 議 事 >

議第24号 令和元年度教育委員会所管12月補正予算（第7号）について
＜可決する＞

審議経過 質疑なし

教育長：他には無いようですので、第8回教育委員会会議を終了します。